

第3回 (7/22号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

菰山地区、長岡地区、大仁地区の白山堂では中干し時期になりました。

長岡地区の小坂、天野、大仁地区の神島では現在は中干し中で、調査圃場では、幼穂形成が確認されました。大仁地区の浮橋・田原野では出穂している圃場も見受けられました。出穂までの期間は間断灌水を行い、根の活力を保ちつつ、健全な生育を促しましょう。また、出穂後～開花期は水分を1番必要する時期となります。水分不足とならないよう、十分な水量を確保しましょう。

② 病虫害状況

病虫害では、夏ウンカ・ヨコバイともに各地区で発生が確認されておりますが、現段階では発生数は少ないため被害の心配はありません。今後の発生量にご注意ください。

山間部では、斑点米カメムシの発生が確認されました。今年は全国的にカメムシの発生が多いため、下記の薬剤等による防除の検討をお願いいたします。

○スタークル粒剤

使用量：3kg/10a 3,660円/1袋(3kg)

対象害虫：カメムシ類、ウンカ類、ニカメイチュウ等

時期：イネカメムシ 出穂期(全体の4、5割が出穂したころ)

斑点米カメムシ 出穂後7日頃

備考：2週間～3週間程度の残効あり

処理後7日間は落水をしない

除草剤の種類

○クリンチャーバスME液剤 1000ml/10a (70～100ℓで散布) 2,010円/500ml

使用時期：ノビエ5葉期、収穫50日前まで

備考：クリンチャーとバサグランの混用剤。ヒエや多年生雑草に高い効果を発揮。

○バサグラン粒剤 3～4kg/10a 3,620円/3kg

使用時期：移植後15日～55日 収穫60日前まで

使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布

※散布後2日程度は晴天が続く時期に散布しましょう。

除草効果が落ちる場合があります。

問い合わせ：菰山営農経済センター 勝又・佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。